

第49回連続学習講座 《重慶大爆撃—戦略爆撃の思想を問う》

3月23日 (金)

午後6時～9時

資料代500円

場所：港区立商工会館2階 研修室
東京都港区海岸 1-4-28 電話:03-3433-0862 JR 浜松町駅北口徒歩7分



靖国神社 遊就館に なぜゼロ戦が？

講師：西川重則さん (平和遺族会全国連絡会代表)

*主な著書：『「新遊就館」ものがたり』21世紀ブックレット

『有事法制下の靖国神社—国会傍聴10年、わたしが見たこと聞いたこと』梨の木舎

コメンテーター：前田哲男さん(軍事ジャーナリスト)

日本が日中戦争中に行った重慶大爆撃は、政府と軍だけでなく、当時の財閥、中でも爆撃機や零式戦闘機(ゼロ戦)を製造した三菱重工も一体となって行った無差別爆撃でした。(靖国神社の遊就館1階にゼロ戦が展示されていることはこのことを示しています。)

今、日本は、新安保法制の下で、政府は軍需産業を梃子入れし、アメリカからイージス・アショアを購入するなど、大々的に兵器導入を図り、戦争体制に突入しつつあります。私たちは、今こそ政府と企業が一体となって行った重慶大爆撃の負の教訓を学ぶときです。

2017年12月30日から2018年1月3日

中国四川省の成都・乐山・自貢・重慶で控訴審の判決報告集会をおこないました



2017年12月30日 成都市



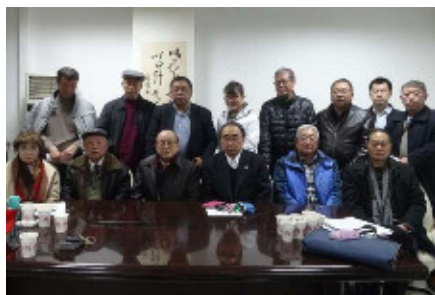
2017年12月31日 樂山市



2018年1月1日 自貢市



2018年1月2日、3日 重慶市



「重慶大爆撃の被害者と連帯する会・東京」代表・前田哲男

重慶大爆撃訴訟弁護団(団長・田代博之弁護士) 連絡先：弁護団事務局(一瀬法律事務所・元永/もとなが)

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-21-5 TEL03-3501-5558 FAX03-3501-5565 Email:info@ichinoselaw.com

◆ Web サイト <http://www.anti-bombing.net> ブログ『重慶大爆撃とは?』 <http://blog.goo.ne.jp/dublin-ki>

2018.1.17